

2023(令和5)年度 事業報告

NPO行徳自然ほごくらぶ

例年同様、水鳥をはじめとする野生生物が生息できる湿地環境の保全と復元を中心に活動しました。新型コロナウイルス関連の制限等緩和に伴い、行事開催・イベント参加の機会が増えました。

会員数(2024年3月31日現在)普通72名・ジュニア7名・電子4名・賛助102名・運営14名 合計199名

2023年度のおもな活動内容 ◆は新規実施・初参加の活動

※【】内はその活動に関する決算報告書財務諸表の注記2.事業別損益の状況における支出項目を示しています。記述のないものは管理部門に含まれています。

1 自然保護の意義と知識の普及啓蒙に関する活動 【観察会等事業費】

1-1. 行徳鳥獣保護区利用者等の応対 ※5-1. に関連項目

- ・保護区内や観察舎周辺等の案内・解説(団体利用・小中学校総合学習対応等含む)
団体利用40件1458名(内小学校5校628名、保護区案内16団体478名)
[前年度団体利用41件1578名(内小学校10校1054名、保護区案内9団体250名)]
- ・実習生受入(4校105名) [前年度3校50名]

1-2. 自然観察会等の開催

- ・定例新浜探鳥会(毎月第2日曜)延べ355名参加 [前年度210名]
※日本野鳥の会東京、千葉県野鳥の会との共催。7・8月は猛暑対策として開催を取りやめた。
- ・夕暮れ観察会(毎月第4土曜)12回開催延べ114名参加 [前年度11回開催延べ87名]
- ・平日観察会(原則毎月第1木曜)11回開催延べ127名参加 [前年度9回開催延べ95名]

その他行事

- ・江戸前干潟研究学校 12回延べ161名参加[前年度12回239名]
- ・トビハゼの日(5月20日280名)
- ・夜の虫とか観察会(7月1日20名・8月19日33名)
- ・セミ羽化観察会(7月29日14名)
- ・ほごくLOVEふえす(10月21日600名)
- ・巣箱の中を見てみよう(12月3日8名)
- ・生物多様性セミナー「マイマイカブリ」(2月3日40名)◆【助成金事業】
- ・桜の花の観察会(3月30日12名)

1-3. 自然観察会・各種イベントなどへの参加・協力・出展、講師派遣

- ・江戸川クリーン作戦参加(5月28日)
- ・いちかわ環境フェア2023出展(5月29日～6月4日ポスター展示)
- ・谷津干潟フェス出店(6月10日・11日)
- ・市川駅南口図書館ギャラリー展示(8月1日～8月27日)
- ・市川駅南口図書館夏休み講座:行徳保護区水辺の生き物たち(8月20日)◆
- ・わくわく野鳥博(小鳥のアートフェスタin横浜)野鳥生活展示協力(8月30～9月5日)
- ・葛西臨海水族園トビハゼ観察会補助(トビハゼ保全施設連絡会関連)(9月2日)
- ・塩浜えんがわ祭出店(9月30日)
- ・東京湾再生官民連携フォーラム東京湾の窓プロジェクトチーム生物調査研修会参加(10月2日)
- ・東京湾大感謝祭2023出展協力(東京湾の窓PT)(10月15・16日)
- ・ジャパンバードフェスティバル2023出店(11月4・5日)
- ・市川市立富美浜小学校出張授業(12月7日)
- ・第1回習志野環境フォーラム講演(3月23日)◆

2 生物の良好な生息環境の確保、保全、改善および復元に関する活動

2-1. 市川市および周辺地域における各種会議等での発言・提言

- ・江戸川放水路水面等利用者協議会
- ・市川市生物多様性モニタリング調査(市川市HPいち案内いちかわ生きものマップ情報提供)
- ・市川市の塩浜親水事業(人工干潟造成事業)に対する要望書提出(市川緑の市民フォーラムと共同)◆

2-2. 行徳鳥獣保護区の野生生物の生息環境の改善・復元のための活動

- ・会員によるボランティア作業(随時) ※5-2. に関連項目含む

2-3. 他団体との協力・意見交換

- ・トビハゼ保全 施設連絡会参加(湾岸地域自然観察施設等連携によるトビハゼについての調査・情報交換・普及啓発活動)
- ・東京湾官民連携フォーラム「東京湾の窓PT」参加
- ・CSR活動対応:三菱電機 東京湾自然保護プロジェクトとして保護区管理作業を実施(4回)
- ・すずがも通信デジタルアーカイブ事業:市川市市川駅南口図書館指定管理者ヴィアックスと共同事業

3 野生生物についての調査および研究に関する活動

3-1. 野生生物の生息調査および研究 【調査研究事業費】

- ・県内サギ類生息状況調査(繁殖地現況・予測調査、ねぐら入り調査、標識調査、情報収集)
- ・九十九里海岸コアジサシ・シロチドリ繁殖状況調査

- ・鳥類カウント 行徳鳥獣保護区・新浜鴨場・江戸川放水路・三番瀬市川側各年3回
- ・保護区植物調査(植物班)【助成金事業】
- ・保護区昆虫調査(昆虫班)【助成金事業】
- ・保護区キノコ調査(キノコ班)【助成金事業】
- ・夜間昆虫調査(千葉県中央博物館研究報告第17巻第1号に短報掲載)
- ・三島池汽水化実験(東邦大・茨城大・ほごくらぶ)
- ・保護区海苔調査(福田武司さん(福田海苔店)・ほごくらぶ)

3-2. 「江戸前千潟研究学校」の実施 【観察会等事業費】

- ・月1回、保護区水域で定置網等を利用した水生生物調査イベント
(講師:風呂田利夫さん。公開調査12回。今年度は93種を採集・観察)

3-3. カワウに関する調査

- ・行徳鳥獣保護区内繁殖状況調査
- ・千葉県「千葉県カワウ生息状況等調査業務」(7・12・3月)【収益事業費】

4 傷病野生生物の保護および救護に関する活動 ※5-1. に関連項目含む

- ・傷病鳥救護、問合せへの対応など
- ・禽舎解説パネルなど掲示物の作成
- ・「Yahoo!ボランティア」インターネット募金活動、イオン南行徳店「幸せの黄色いレシートキャンペーン」登録団体
- ・会員等によるボランティア作業(随時)

5 行徳内陸性湿地の管理および運営に関する活動 【収益事業費】

5-1. 千葉県「行徳鳥獣保護区管理運営業務委託」

- (1) 普及啓発・周知広報等業務
 - ・定例園内観察会指導(毎週日曜・祝日)56回開催延べ951名参加 [前年度56回実施延べ887名]
 - ・ボランティア指導(ボランティアデー毎月第4土曜)11回開催・延べ148名参加 [前年度9回開催延べ156名]
 - ・行徳鳥獣保護区HP(<http://suzugamo.seesaa.net/>)の作成・更新
 - ・取材・問合せ対応:TV等3件 [前年度9件]
- (2) 傷病鳥の救護と施設の管理
 - ・傷病鳥受付、台帳整備、治療、給餌給水、看護、回復訓練、放鳥、傷病棟の管理清掃、
 - ・收容鳥の健康管理 入所32種147個体・放鳥等87個体 [前年度入所37種126個体・放鳥等76個体]
- (3) その他施設維持管理・清掃業務
 - ・清掃、除草、軽微な修繕等

5-2. 千葉県「行徳鳥獣保護区管理運営業務委託」

- (1) 保護区利用対応
 - ・保護区案内10団体271名 [前年度9団体250名]※学校利用対応除く
- (2) 保護区施設維持管理
 - ・観察路・観察壁維持管理、巡視点検、清掃・除草・植栽整備
- (3) 野鳥等誘引
 - ・営巣場所整備(除草等)、カワウコロニー管理

5-3. 千葉県「行徳湿地保全事業湿地環境改善・維持管理業務委託」

- 内陸性湿地帯を良好な状態に保ち、野鳥を誘致するための環境維持・改善・野鳥保護事業
- ・水管理
 - ・湿地環境改善・維持管理

5-4. 千葉県「行徳湿地保全事業水質・鳥類継続的調査業務委託」

- 内陸性湿地帯管理に役立てるため水質調査・鳥類調査
- ・水質調査(表層水10地点・2回/月、底泥水5地点・1回/隔月)
 - ・鳥類調査(内陸性湿地帯 ラインセンサス及びマッピング週1回及び観察舎周辺定点月2回)
 - ・鳥類標識調査(10~3月)

6 この法人の活動についての広報に関する活動

6-1. ・会報「すずがも通信」発行(年6回偶数月第2日曜日) 【広報事業費】

7 このほか、この法人の目的を達成するために必要な活動

7-1. インターネット等での活動紹介、行事案内等

- ・会Webサイト・ブログ・Facebook・X(Twitter)・Instagram等での情報発信
- ・Facebookグループ「ぐるっと東京湾!自然と魅力のワクワク情報」参加・投稿
- ・すずがも通信バックナンバー(第36号~52号)公開(市川駅南口図書館HPにて)

7-2. 職員研修 【観察会等事業費】